

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公表番号】特表2012-515128(P2012-515128A)

【公表日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-026

【出願番号】特願2011-527473(P2011-527473)

【国際特許分類】

C 04 B	28/04	(2006.01)
C 04 B	28/02	(2006.01)
C 04 B	22/06	(2006.01)
C 04 B	22/14	(2006.01)
C 04 B	14/28	(2006.01)
C 04 B	14/26	(2006.01)
C 04 B	14/04	(2006.01)
C 04 B	14/06	(2006.01)
C 04 B	14/10	(2006.01)
C 04 B	22/12	(2006.01)
C 04 B	22/08	(2006.01)
C 04 B	24/26	(2006.01)

【F I】

C 04 B	28/04	
C 04 B	28/02	
C 04 B	22/06	Z
C 04 B	22/14	A
C 04 B	14/28	
C 04 B	14/26	
C 04 B	14/04	Z
C 04 B	14/06	Z
C 04 B	14/10	A
C 04 B	22/12	
C 04 B	22/08	A
C 04 B	24/26	F
C 04 B	24/26	C
C 04 B	24/26	G

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年2月10日(2014.2.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

本発明は水硬性セメント組成物に関する。この水硬性セメント組成物は、強化された耐熱特性もしくは断熱特性を有する。この水硬性セメントの耐熱特性は、熱吸収材または熱反射材を混和することによって改良されている。更に、本発明は、加水分解された水硬性の白色セメント集成体または粉末を加え、これに1種又は複数種の耐熱材を加えて、断熱及び熱反射製品の所要の形状を形成することを含む。前記の集成体は、加水分解及び集成

体の作製の以前または以後における更なる特性を誘起するための、加水分解の以前または以後に加えられる材料を含む。結合材（バインダ）は、水硬性セメント、気硬性セメント、有機結合材を含む。製品は様々な粒子サイズの集成体を用いて製造される。該製品は、セメント集成体として少なくとも1つの成分を含む。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

セメント集成体を用いて製造される製品は、タイル、ブロック、モルタル、ばら状態のフィラー、ペイント及びコーティング、壁用石膏、セメントシート、多孔性材、目地材、及び混和材である。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

本発明によれば、セメント集成体を用いて製造される製品は、タイル、ブロック、モルタル、ばら状態フィラー材、ペイント及びコーティング、壁用石膏、セメントシート、多孔性材、目地材、及び混和材である。